

## 平成 19 年度第 6 回上田西部地域協議会会議録

日 時 平成 19 年 10 月 17 日（水） 午後 7 時から 9 時

場 所 塩尻地区公民館 1 階和室

出席委員 表委員、金井委員、菅沼委員、鈴木委員、滝沢委員、田中委員、中島委員、  
祢津委員、藤沢委員、松本委員、宮尾委員、宮下委員、村山委員、母袋委員  
森泉委員、横沢委員

市側出席 小相沢都市計画課課長補佐、児玉都市計画課主任  
渋沢まちづくり協働課地域振興政策幹

### 1 開 会（渋沢地域振興政策幹）

### 2 会長挨拶（宮下会長）

本日は西部公民館の会場が確保できないということで、この塩尻地区公民館をお借りしての会議でございます。ご案内の通り、都市計画マスタープランの地域別構想について、先般各委員さんからお出しいただいた意見の集約状況を都市計画課から説明をいただき、更に説明に基づいて皆さん方のご意見を拝聴したいということです。

先般西部塩尻地区の現地調査を行いました。大変お疲れ様でした。欠席された委員さんは、調査で使用した図面を用意させていただいておりますので、ご覧いただきたいと思います。後程ご説明申し上げます。

その後、分科会からの報告ということで、午後 9 時ごろまでには終了したいと思っておりますので、格段のご協力をお願いいたします。

### 3 会議事項

#### (1) 都市計画マスタープラン地域別構想について

（宮下会長）

早速でございますが一番の都市計画マスタープランの地域別構想ということで、都市計画課から説明をお願いします。

（小相沢都市計画課課長補佐）

先月の協議会では、都市計画マスタープランや地域別構想につきまして説明させていただきました。本日は第 2 回目としまして、今会長さんからご説明ありましたとおり、具体的に地域別構想の中に載せていく項目につきまして、ご協議をお願いしたいと思います。

前回お願いしました地域の皆様のご意見につきましては、9 名の委員様から貴重なご意見を頂いております。頂いたご意見を整理いたしまして、皆様方へ先日通知と一緒に発送させていただきました。中身につきましては、ご覧いただけたかと思っております。地域の

皆さんが真剣に取り組んでいる様子が伺えまして、地域別構想の中には、できるだけ反映していきたいと考えていますので、よろしく願います。

本日は皆様にご協議を頂く内容としましては、2点ございます。1点目は、過日申し上げました前回のマスタープランとか地域別構想の抜粋、それと今回いただきました皆さんのご意見を合わせまして、その中から何を地域別構想の中へ盛り込んでいくのか、その選択をしていただくのが1点目でございます。

2点目としましては、この地域の課題や方針は多数ございますが、その中で何と何を一番大事にしていきたいのか、についてご意見をいただきまして、例えば土地利用が大事だとか、景観が大事だとか、道路が大事だとか、地域が一番大切にしていることは何か、ということ把握する中で、そのことを重点において地域別構想を作成していきたいと思っております。そうすれば、色々な項目を横並びにするには、メリハリある計画ができるのかなと思っております。以上2点について、今日は皆さんにご協議をお願いしたいと思っております。本日の会議の内容を参考にしまして、地域別構想を策定してまいりますので、よろしく願います。

それでは1点目の地域別構想へ掲載していく項目の選択につきまして、始めさせていただきます。まず視点といたしまして、皆さんから頂いたご意見はいろいろとありますが、中には、前回のマスタープランに書かれている内容と同じようなものもございます。ただいただいた意見の中には、同じことでも新しい視点とか、新しいご意見もございますので、そういうものを生かしながら文章に仕上げたいと思っております。それから同じような意見、また似た系統の意見が2、3ありますので、そういったものはある程度集約してまとめながら掲載していくというのが2点目でございます。3点目としましては、いただいたご意見の中にも、市の方針の中で将来的に可能性が非常に少ないものとか、都市計画マスタープランにはなじまないというような意見、それから具体的な要望もございます。その中には担当課へお伝えしたり、地域別構想からは除かせていただきたいと、そういったものもございますもので、それについてはまたご説明したいと思っております。

では具体的な内容としまして、都市計画課として将来的に少し可能性が薄いなというもの、それから担当課へ直接話した方がいいかなというものにつきまして、いただいたご意見を中心に担当からご説明させていただきますので、よろしく願います。

(児玉都市計画課主任)

それでは皆さんに事前にお配りした都市計画資料1に、皆さんの意見記入シートのものをまとめたものがございますので、ご覧いただきたいと思ます。

資料1「上田西部地域別構想の主要項目に関する意見記入シートの整理」により説明

(宮下会長)

ただいまご説明をいただきましたが、ご意見等ございましたらお願いします。

西部地域の中では何を保全していくのか、何を大切にしていきたいか、そのあたりからご意見を出していただければと思います。

(村山委員)

秋和の道路整備で、農地に馴染まない土を入れられてしまって、作物が育たなくなってしまうという場所があったかと思う。作物が育つ土を入れて、農園として貸し出すことを考えてはどうか。

(宮下会長)

地域内には、良好な土地にもかかわらず、遊休農地となっているところが多くある。農家が専門に耕作していたが、病気のため耕作ができなくなってしまったといったような土地が結構ある。田については、農協ファームで米を作ってもらっている。畑の担い手がない。野菜を作ってみたい、という方々に対する家庭菜園はあり得る。市では、30坪から40坪ずつ市民農園として貸し出しているところがある。

(藤沢委員)

農地を貸すとそのまま取られてしまうと思っている高齢者が多い。責任が持てる組織を仲介して貸し出せるしくみがあればいいと思う。

(宮下会長)

相対でなく、JAが中に入って貸借関係をしっかり結ぶ制度がある。この制度により貸借関係を結ぶケースが増えている。

(藤沢委員)

JAが中に入れてくれることを知らない住民が多い。

(宮下会長)

市民農園をもっと広報すれば、野菜作ってみようなといった市民が出てくるかもしれない。そういったことにより遊休地を減らしていくことができると思う。土地利用の誘導の中では、積極的な遊休地の活用が、西部地域の重要事項となっている。

(金井委員)

塩尻も秋和も営農組合も手一杯となってきている。高齢化により耕作できない方が増えている。JAへ頼むと、各地区の営農組合が農作業機械を保有しており、作業を進めていくが、請負に限界がみえてきている。畑の貸借については、行政主導で、例えばこの地区なら塩尻支所へ頼むという形で、土地等の情報公開をしてPRすることまでしなければ、地区内で探そうと思っても、耕作してもらえるかどうか分からない。

(小相沢都市計画課課長補佐)

これまで農業を営むのは、農業者だけであったが、国の施策の中で、会社が生産法人を組織して、農地を借りて農業を営むことができる制度となっている。個人が1反、2反を耕作するのではなく、大きい組織で農地を耕作していく方向に移りつつあるようであ

る。JA等が中に入って、農地の利用を促進する体制ができつつある。

(宮下会長)

「卸売団地の基盤形成」とあるが、道路を延長してもらいたいということか。

(小相沢都市計画課課長補佐)

それも1点ある。都市計画の特別業務地区に指定されているが、流通業以外のものは建設できないという条例をつくってもらいたいという内容である。この2点について触れている。

(金井委員)

これについては以前から話があって、卸団地をもっと活性化しようということで、しなの鉄道の上田駅から西上田駅の間にも新駅を設け、もっと人の出入りがあり、にぎやかな団地にできないかということである。

(宮下会長)

各企業が相手に経済状況も厳しい中、困難が伴う。地域とすれば、にぎわいを創出することにつながっていくことから、再整備が必要であるということを受けとめていただきたい。

(小相沢都市計画課課長補佐)

そのあたりも含めて、地域別構想に書き入れていくことでよろしいでしょうか。

了承

(宮下会長)

それでは、道路・交通の整備について、に移ります。国道18号線の整備、道路網の充実、生活道路の整備、交差点の改良等について触れている。道路の整備には、年月がかかる。地道に要望していくことが大事である。どのように順位づけをしていくかである。

(小相沢都市計画課課長補佐)

国道18号線の上塩尻地籍が渋滞するというので、計画としては都市環状道路として立体交差させる計画となっている。実現すれば、かなり渋滞が緩和されるということがあります。市道につきましては、五反田新屋線の整備を実施しており、重要路線と考えている。

(宮下会長)

上塩尻東の交差点の改良については、国土交通省へ要望が上がっているかと思うが、進展がない。

(小相沢都市計画課課長補佐)

そのあたりについて、国道バイパス係へ確認したが、4車線にならなければ、立体交差は難しいとのことである。

(宮下会長)

立体交差は遅くなることはわかっている。先に長野方面から来る左折のレーンを広げる改良を進めてほしいとのことである。

(小相沢都市計画課課長補佐)

その話もしました。一部の地権者の同意が得られず、進められなかったという話も聞いている。

(宮下会長)

小学校の前から少しずつ広げてきて、左折レーンを整備する計画である。現在の進捗状況について、情報を知らせてほしい。4車線化よりは、左折レーンを早く整備してほしいというのが、道路整備の第一条件である。

(小相沢都市計画課課長補佐)

この交差点改良について、地域別構想に盛り込んでいくと同時に、担当課へもお伝えします。

(宮下会長)

道路・交通の関係につきまして、他にご意見ございますか。

(宮下会長)

しなの鉄道の新駅について再度説明願いたい。

(小相沢都市計画課課長補佐)

以前しなの鉄道の新駅という話はあったが、乗降客数の見込みや設置に必要な土地がなくなったこともあり、計画は断念し、現在市の構想からはなくなっている。

(宮下会長)

一日の乗降客がどのくらい見込まれるか、が大きなポイントになる。駅を設けたが、毎年何百万も赤字ということでは困る。赤字部分を市で補填するということでは、由々しき問題となってしまう。

(小相沢都市計画課課長補佐)

実現が難しい状況である。

(藤沢委員)

先日県道の半過地籍で落石があったために、国道 18 号線がかなり渋滞してしまった。県で早期にトンネルを開通させ、渋滞が生じないよう整備を進めてもらいたい。

(小相沢都市計画課課長補佐)

上田市境のねずみ橋までの整備については、現在平成 21 年度目標に完了するよう進めているとのことである。

(藤沢委員)

なるべく早期に進めないと、再度落石があった時は、同じように渋滞となってしまう。

(宮下会長)

自然環境の保全・活用に入ります。4つほど項目が挙がっている。公園は、生活者の目から見て大変重要な施設である。第 2 分科会で調査したところ、手入れがきちんとされていない公園が見受けられたので、市から管理者である自治会に指導してほしい。

ホタル水路については、有志で充実化を図っているところである。さらに歩きやすい

ように周辺の整備を進めている。

(藤沢委員)

「新幹線トンネルから排出される水を利用して、ホタル水路整備を検討してもらいたい。」とあるが、ホタルが生息できる水であるのかどうかお聞きしたい。

(宮下会長)

水が湧き出ているところへカワビラという巻き貝が生息しないと、ホタルは一匹も飛ばない。いたるところでホタルが舞うまちにしたいので、ホタルの生息が可能と思われる場所には、ホタルを放していきたい。

(宮下会長)

遊歩道の関係ですが、矢出沢川の遊歩道が途中で切れている場所があったが、その間の整備を進めてもらいたい。

(松本委員)

地権者の方が反対されている。市の担当が地権者に断りなく、杭を打ってしまい、その後用地の交渉をしたために、進まなくなってしまったものである。

(松本委員)

遊歩道の両側が、河川と水路で危険なところがあるので、安全策を講じてもらいたいということで、以前県に柵の設置を要望したところ、防災道路であるため、設置できないということであった。

(小相沢都市計画課課長補佐)

都市マスタープランは、長期スパンの構想であるので、遊歩道として入れておいてはどうか。

(宮下会長)

太郎山山麓のトレッキングコースを整備してほしい。標高の低いところに等高線に沿ったなだらかなコースにして、トレッキングコースと歴史の散歩道を合わせて整備してほしい。第2分科会として特に力を入れている一つの目玉にしたい。

緑化は、行政だけに頼らず、住民一人一人の責任で、進めていくことが大切だと思う。

(宮下会長)

次に景観の形成方針に入ります。太郎山は16万市民のシンボルであるので、大切にしていきたい。

(金井委員)

「太郎山へのスカイラインを確保する。」のスカイラインの意味がわからないので、皆にわかる表現にしてもらいたい。

(小相沢都市計画課課長補佐)

山の形を崩さない、高いビルで山並みが見えなくならないように、という意味合いだと思う。

(小相沢都市計画課課長補佐)

「バイパス沿いの秋和地区にも休耕田、空地が目立つが、太郎山沿いの石垣の保全に加え、こうした土地に高層建物の造られることがないように対策を願いたい。」とあるが、市内でも高層マンションが問題となっており、建物の高さをどうしようか、といったことがしばしば課題となっており、こういう地区でも建物の高さについては課題意識を持っておられるのか、将来的にそういうものは建たない方がいいのか、そのあたりについて、お考えをお聞かせ願いたい。

(横沢委員)

紺屋町に大きな高層マンションが建ってしまった。前のお宅の壁となってしまう。生塚神社から秋和の八幡神社までのウォーキングコースにつなげて、塩尻までつなげてほしいと思っていたが、街中だけでなく、山裾にもアパートがどんどん建ってきている。高い建物が建たないようにしておかなければ、紺屋町のような状態になってしまうと思う。

(小相沢都市計画課課長補佐)

地権者の同意を得て法的に規制することが可能であり、規制すべき時期にきていると考えている。

(宮下会長)

防災に関する整備に入ります。ご意見をお願いします。

(藤沢委員)

塩尻小学校の体育館は、指定の避難所となっている。先日行ってみたところ、体育館裏に防災物資が置かれていたが、管理されている形跡がなかった。定期的に見直すようなことは行っていないのか。

(小相沢都市計画課課長補佐)

危機管理室に確認したところ、市内 8 か所に防災備蓄庫を設置しているとのことである。西部地域のエリアとしては、櫓下の公園管理事務所に備蓄庫があります。物資については、定期的に変換しているとのことでもあります。

(宮下会長)

卸団地は、必要なら協定を結ぶのか。水などライフライン切断時に必要なものは揃っているのか。それは検討されるということか。

(小相沢都市計画課課長補佐)

今農協や建設業協会と提携している。可能性のあるところなど教えてもらえば、増やしていきたい。

(藤沢委員)

災害の危険性の高いところに家を建築するのはどうかと思う。

(小相沢都市計画課課長補佐)

これまでも対策を講じてきたが、国の方針を変更し、危険箇所を指定し「赤ライン地

域」「黄ライン地域」に分ける。上田地域でも来年から地域指定について説明会を行う考えである。

(宮下会長)

公共公益施設の整備については、総合計画の中にも出てきている項目である。

(小相沢都市計画課課長補佐)

都市計画といたしましては、道路を整備するとかアクセスの面で記載していきたいと考えている。

(宮下会長)

西部公民館の改善についてはどうなのか。利用者も一番多く愛着もあり、人と人との交流の拠点にもなっているので、良い環境整備をお願いしたい。

(渋沢地域振興政策幹)

昭和 54 年に開館したが、改修等必要な部分が出れば、対応していかなければならないと考えている。他施設の改善の必要性や緊急性も併せて考えなければならない。

(宮下会長)

児童館建設の見通しはどうか。

(小相沢都市計画課課長補佐)

西部地域に児童館が 2 つあるが、塩尻地区から遠いために要望されているようである。学校の放課後対策の中で対応することも考えているようだが、市の方針としては具体的に決まっていない。

(小相沢都市計画課課長補佐)

地域として何を大切にしていきたいか、の検討をお願いしたところであるが、今日お聞きする中で、ホテル、矢出沢川の遊歩道、歴史的街並みの保存の 3 点あたりが重点事項かな感じたところであるが、その 3 点でよろしいでしょうか。

了承

(裯津委員)

住環境のところでは気になる部分がある。緑ヶ丘から上田警察署までの間で、悪臭が出ている施設がある。施設改修を実施したので、改善されるということであったが、状況は変わっておらず、広範囲に影響が出ている。

(小相沢都市計画課課長補佐)

生活環境課へお伝えします。

## (2) 西部塩尻地区の現地調査について

(宮下会長)

それでは 2 番の西部塩尻地区の現地調査ということで議題にしたいと思います。事務局の方で何かありますか。



( 渋沢地域振興政策幹 )

10月10日に13名の委員さんにご出席いただきまして、西部から塩尻地区全体の史跡等、共通する課題ということで児童館等も含めて視察したわけです。欠席された委員さんには、お手元に分科会で作っていただいた地図と当日の資料とお配りしてありますので、ご覧いただきたいと思います。

実はこれも多分、今年の1月か2月頃協議会の方で、今後調査研究したい事項をいろいろと出してもらった中にも、西部地域を知るための勉強会、現地視察をしたいという項目があったわけですが、その1つにもなったかなということで、また必要であればまた実施すればよいかと思いますし、大変有意義であったと思います。

( 宮下会長 )

初めて見る場所もあったかと思います。現地調査は、ここで皆で議論していく以上の新しい発見があったかなというふうに思っております。ありがとうございました。時間がなくて、省いてしまった箇所もあります。現地調査について、今度こんなところも見てみたいという意見などありましたら、出していただければ計画をしたいと思っております。

(3) 分科会からの報告について

( 宮下会長 )

それでは、分科会からの報告ということでお願いしたいと思います。第4分科会の鈴木委員さんからお願いします。

( 鈴木委員 )

第4分科会は、医療とそれから卸団地のことであります。

医療の方は、地域医療を考えるということで、3回分科会を開きまして、1回目には市と産院の職員の方に、それぞれ講師として来ていただき説明を聞いて、2回目から話し合いを重ねた結果、少し西部地域の皆さんに地域医療の問題を知っていただくことも大事ではないかということで、先生をお呼びして講演会を開いたらどうか、ということになりました。廣瀬先生は、4人くらいでも来てくれるというお話だったのですが、4人でお話を聞いても、ただそれだけで終わってしまうので、できれば広く地域住民の皆さんに聞いていただいたらどうだということで、11月17日土曜日午後3時から西部公民館でいかがでしょうか、ということで案を作ってまいりました。主催が西部地域協議会と西部公民館、告知の方法は西部公民館報や新聞等を通じて、お知らせ等できればと思います。講師は、上田市産院の廣瀬副院長さんで、演題の方は廣瀬先生とお話をして、「産む力・生まれる力を支える地域であるために」の内容でお話をいただくことで打ち合わせをいたしました。

廣瀬先生と話をしている中で、今長野病院は厚生労働省からお役人の方が2名来られており、長野病院を永く良い病院にしていくといういい方向にしていくという話ではな

く、長野病院、地元住民合わせて地域医療をきちんとしていこうではないか、ということで、この 2 年くらいの間できちんとした形にならないと、長野病院は廃院あるいは民間に委託ということになっていくということでもあります。今来ているお役人はどちらかという病院を片付けていこうという方向で、いろいろな話を進めている雰囲気には受け取れましたので、ここ 2 年くらい長野病院存続という問題については、地域の住民みなさんで一生懸命考えていかないと、2 次医療の問題も上田からは無くなってしまふのかなという感じがいたします。上山田の日赤のように、いきなり 4 月で廃院とかいう様な話が出てくるのではないかなということで、まずお産の話から進めていきたいということでもあります。

それから分科会の話の中で、この西部地域には二世のお医者さんが、長野病院の診療科より多いほど揃っております。花園病院は整形外科、宮下胃腸科と神経内科、柳澤病院、ささき小児科、小川眼科、塩尻の生協、高野外科。挙げていくと長野病院より多い診療科を抱えているめずらしいところですし、帰ってきている二世の先生方もかなり東京では有名な先生ばかりです。柳澤病院の若先生とお話したところ、医師会の事務局を通していただければ、講演会でもどこでもボランティアで出ていき、お話をすることには別段こだわらないのでというお話をいただきましたので、回数は多分重ねられるのではないかなという感触は先生方から受けております。

総合計画やマスタープランの 9 年先には、長野病院という姿すらなくなってしまうような感じで、今お話をしているので、少し勉強していかないと大変なのかなということで、分科会の方ではこういった計画を立てました。

(宮下会長)

はい、わかりました。お聞きしたいのですが、この日程はもう動かせませんか。

(鈴木委員)

西部公民館の日程の空いている日と先生の日程を調整し、できればこの日ということでもあります。12 月になるとお産がかなりあり、自分の休みもとれないのではないかなというお話です。

(宮下会長)

告知方法の中で新聞等とありますが、広告料が発生してくると思います。その予算づけはどうしますか。

(鈴木委員)

新聞等というのは、お知らせとか、そういったところに載せていただこうと思っています。信毎、週刊うえだ、東信ジャーナルへお願いできればと思っています。

(宮下会長)

それから講師の先生に対する謝礼はどうしますか。

(鈴木委員)

先生は市の職員です。出前講座ということでお願いしていきたい。

(宮下会長)

わかりました。行政の方はどうですか。

(渋沢地域振興政策幹)

鈴木委員さんとは会場の関係もあり、若干打ち合わせをさせていただいておりますが、10月12日に分科会を開いて、委員の皆さんにお決めいただいたことだと私も理解をしております。

協議会そのものが言ってみれば、市の行政機関でもあるということで、その辺のところをどのように告知したり、どういう形で協議会として進めるか、市の事業として行うか、その辺の整理をさせていただきたいということで、会長と鈴木委員さんと私で時間をいただきたいと思っております。日程はこれでよろしいかと思っておりますが、協議会として、どういう形で位置付けをしておくか、その辺をしっかりしておかないといけないと思っております。実は4月の第1回目の時も協議会が非常にあやふやな形だということで、ご発言もあったところであり、実際何をやるのかというところがなかなか決まらない部分もあったりしていたわけですが、現地調査等を進めたりしてきている中で、先程も申し上げたように、今後調査研究したい事項の中にも、地域医療とか病院を含めた地域の医療機関の配置とか産院の問題がありますので、こういう形の中で協議会として取り組みたい。また、協議会としての勉強会もしたいというところを若干膨らませるような形で、対応ができればと思うところです。

(宮下会長)

実はこの問題につきましては、ご存知だと思いますが、東信ジャーナルでかなり詳しく取り上げております。産院を中心としたバースセンターの構築だとか、非常に今日的課題だと思うところです。産院には遠い方からも来院している。佐久の方だとか、北信だとか、非常にエリアが広いと思います。ということは、単なる私共西部協議会だけではなくて、もっと広くもし進めるとすれば、こういういい話なものですから、広く聞いて欲しいというのが私の意見です。主催が西部地域協議会ということですが、どうかと思うところです。上田市で進めてもいいのではないかと思います。これから話し合いの余地はあるわけですね。主催はどこでもこだわらないですか。

(鈴木委員)

私は今西部地域協議会の委員として発言しているので、進めるとすれば、西部の地域協議会でないと意味がないのかなと思います。上田市で進めるのではなくて、地域協議会で主催するから、ご近所の方とか動員できるということもあると思います。例えば上田市で進めたら、ただの講演会と同じになってしまうので、そうしたら西部公民館のあの小さいホールでやる意味がないのかなと思います。丸子でも地域協議会が、産院の問題の講演会を予定しているようですし、だからと言ってということではないですけど、西部地域協議会でこういうことをやってはいけないということは、発足時に定めた会則にはなかったような気がします。例えば今の医療の問題が、政治的問題だから地域協議

会にはなじまないというふうに、市からお返事がくれば、またそれはそれで考えていかなければいけないと思いますけれど、一番身近な問題ですね。

( 渋沢地域振興政策幹 )

鈴木委員さんもおっしゃっておられるように、協議会としてどのように位置付けて、一般に話をしていくかというところが、協議会主催とすれば初めてのことでありますので、本庁とも体制づくりはしていきたいと思っております。

( 宮下会長 )

市の諮問機関で、産院の存続を考える会とか、検討会がありますよね。その会との整合性はどうか。

( 渋沢地域振興政策幹 )

もう一つは協議会で進める場合に、今言ったように、ここに第 1 回と書いてありますが、今後どのように展開させていくか、ということもしっかりもっていないといけないかな、という感じはいたします。経費のこともあります。

( 鈴木委員 )

経費もある程度は、市の方で負担していただく必要がある。地域協議会で話し合っ  
て進めていく場合、現地調査の日当は出るけど、例えば遠くへ行って街並みを視察したい  
という時に、市として予算の対応をしていただけるのかどうか。地域協議会はただのお  
飾りで、ここで話し合っているだけで終わってしまうものにしていいのか、というこ  
とです。地域の住民の方に、地域協議会というものを知っていただくには、ある程度広  
報的な講演会も進めていかなければならないだろうし、2 回目、3 回目になってきた時に、  
何もしないでただの審議会と同じようになってしまっただけでは、市長が目指す分権な  
ところにはとてもいけないのではないかと思います。予算的なものについては、我々が  
考えるのではなく、市の本庁の方で考えるべき問題だと思います。活発に動く地域  
協議会に対しては、予算を付けるのか、それとも何もつけないのか、ということは我々  
が考えることではなくて、市が考える問題ではないかなと私は思います。例えば分科  
会で作成していただいた地図にしても、委員個人にお願いしたりしているわけですよ  
ね。こういうものについても、協議会で資料として配るものであれば、きちんと予算を  
確保していかなければならないものですよ。それを全部個人にお願いしていたら、地  
域協議会の委員になる方がいらっしやらなくなってしまうのではないかなと思う。  
自治会の役員さんとはまた全然違う性格のものでありますから、そのあたりは市の方  
がどう考えているのか、ということは本庁で考えていただくことですよ。

( 渋沢地域振興政策幹 )

今日この計画書が出されたところで、本庁でもそのあたりは充分検討したうえで、  
それから進めるということにしたいとは思っています。確かにどういことをしたいです  
か、ということ聞いて、こういうことをやりたいという話になっていますので、また  
分科会でも話し合ってきたところでありますので、本庁とも詰めをさせていただき  
たいと思

います。日程につきましては、皆さんよろしければ、一旦お決めいただきたいと思えます。

(宮下会長)

一つの考え方とすれば、我々が今まで進めてきて、分科会方式にして、第4分科会で地域医療を考えディスカッションして、それが段々膨らんできて、産院の先生に今日的課題を勉強したいという結論になって、4人で聞いても効果的ではないし、地域協議会全体で聞いた方がいいのではないかと。それが更に膨らんで付近の住民や関係する若いお母さんや若いお父さんに聞いてもらってもいいのではないかと、ということで話が進展して、この問題が出てきたということであります。そういうプロセスでもっていってもらえば、そんなに問題はないかなとは思う。

今予算の話が出たわけですが、当初協議会が発足した時には、そこまでの想定はなかったわけです。講師謝礼にしても印刷費にしても、当初予算には全く組み込んでなかったわけです。進めていったら、必要経費が出てきた。それは当然市の方で考えるべきということで、今西部協議会で印刷5千円かかったからといって、そうですかという訳にはいかないわけです。補正予算を組まなければ、予算は確保できないわけです。

(鈴木委員)

例えば必ず想定として会議を進めていけば、必要な資料が出てきて、話し合っていけば、資料が出てくることを考えない市の方にも問題があるのではないですか。

(宮下会長)

資料だけなら、例えば委員さんが一枚作ってきて、これを何十枚刷ってくれと、それはそれで印刷費としてできる。これが1冊の本が必要だということになると、話は別で、印刷費程度は原本を作ってお願ひしていくことになるが、その他の何万円ということになると問題だからね。そうなるやっぱり事前にしっかり検討して、12月補正、3月補正予算にかけるような形にもっていかないと予算が可決しないわけです。それだけご承知願ひたい。

今回の講演会は第1回ということで、これからも続けて開催したいということですか。

(鈴木委員)

これだけでおしまいということになると、地域協議会としても困るかなということで一応第1回とさせていただいた。

(村山委員)

ここまでいった話は、地元にどういうお医者さんがいて、医療の具合はどうなっているのか、ということを知ることから始まったわけです。だから先程の柳澤病院にはこういう先生がいる、宮下胃腸科にも新しい機械も入れた、できればその新しい機械はどういうことまでやってくれるか、ということまで、例えば2回目でも3回目でもそんな話を皆で聞ければいいなって思います。そんな意味で、まず産院の話が出たわけです。

(鈴木委員)

いい先生がいるのに、知らないで遠くの医者にかかっているということが結構あるか  
と思います。例えば柳澤病院の先生で言えば、テレビに出て番組一つ作るくらいの循環  
器系についてはすごい先生で、そんなこと誰も知らないし、宮下胃腸科の息子さんは神  
経内科で言えば、大学の教授クラスのレベルの方だし、花園病院の先生にすれば、整形  
外科でお年寄りを必ず歩いて帰らせる先生で、そういう先生方にお話を聞くことによ  
って一次医療の充実という面で、近隣のお医者さんとの連携が深まってくるのではないか  
と思う。

(宮下会長)

地域協議会の組織はどの辺で終わるのか。

(渋沢地域振興政策幹)

基本的には市長の諮問機関ということで、今回のように都市計画マスタープラン等を  
はじめいろいろな検討を行っていただいているわけですが、その他にこの西部地域の住  
民自治の推進や住民との行政との協働によるまちづくりについての調査研究を行うとい  
うものである。その辺が非常に幅が広いと言えば広いという感じになりますので、その  
辺のところ調査研究を行うと、それでどうするかということまではここでは言ってい  
ないわけですが、それによって住民自治や行政との協働の力をアップしていくというこ  
とだと思います。

(宮下会長)

今鈴木委員さんの方から地域医療を考えるということで、医療問題についての話を聞  
きたいという提案があった。この地域協議会で聞きたいという内容については、医療問  
題だけでなくでもいいと思う。もっと見聞を広げたいということになれば、もっ と他の  
先生を呼んで、膨らませたってかまわないわけである。

例えば「国道はどうやってできるのか」ということは知らないと思う。そうしたら国  
土交通省の上田工事事務所の担当課に来てもらって話してもらおうとか、そういうことを  
視野に入れて、そうすると西部って結構いいかなと、そんな感じも受ける。少し個人的  
な考えであるが、とりあえず地域医療を中心に進めても、それはいいと思う。

(渋沢地域振興政策幹)

そういう勉強会もしながら進めていって、最終的に提言をどのような形で出していく  
か、そのあたりが課題ではあります。一応こういう方向でお願いしたいとか、地域医療  
ですので、地元で何かできるかという、なかなかやりにくい部分であるかと思いき  
ますが、これまで進めてきた経過の中で、この問題については非常に関心が高いし、そう  
いうことで取り組んできたという中でピックアップして、今回取り組んでいるというこ  
とです。協議会としての体制づくりも本庁と協議させていただいたうえで、お話をしたい  
と思います。

(宮下会長)

それでは早急に詰めてみてください。こういう講演会を開いた場合、できれば資料があった方がいい。鈴木委員さんもできれば何か簡単な資料でいいからございませんか、ということで聞いておいてください。

(鈴木委員)

講演会にあたり、要点をまとめたレジュメは作ってくださるということです。

(宮下会長)

家に持ち帰って読めるからね。では第4分科会からの提案ありました地域医療を考える講演会は、提案通り進めるということによろしいですね。

了承

(4) 次回会議について

(宮下会長)

それでは次回の会議ですけれど、事務局からお願いします。

(渋沢地域振興政策幹)

都市計画課から1ヵ月後くらいに、次回の会議をお願いしたいということですので、西部公民館が空いております11月19日月曜日をお願いできればと思っております。

(宮下会長)

この日ご都合悪い委員さんもいらっしゃるかと思いますが、次回は11月19日月曜日午後7時から、西部公民館の会議室ということでお願いします。

4 その他

(宮下会長)

それでは今日ご提案申し上げる審議事項につきましては以上ですが、その他何かありますか。

(宮下会長)

よろしいですか。

<了承>

(宮下会長)

以上で閉会とさせていただきます。ご苦勞様でした。